

サイエンス・フェスタ（青少年のための科学の祭典）2010参加

8月21日（土）・22日（日）、梅田ハービスホールにおいて、サイエンス・フェスタが開催されました。本校からは、農業クラブと自然科学部の部員が参加しました。本校がサイエンス・フェスタに参加するのは7回目になりますが、農業クラブと自然科学部との共同参加は3回目です。

このサイエンス・フェスタは、財団法人日本科学技術振興財団と日本物理教育学会の主催により日本全国で行われており、参加人数は37万人にもなります。近畿では大阪大会が来場者数と会場規模が最も大きいものとなっています。

今年の本校のテーマは、「生物多様性条約国際会議」が日本で開催されることもあり、野生生物の宝庫である能勢の自然を紹介するものとなりました。メインはアカハライモリ水槽展示で、多くの子どもたちに生きたイモリを観察してもらいました。また、子どもたちに、地球温暖化の実情に関心をもってもらうため、セミの抜け殻を利用した「簡単な昆虫標本」を作ってもらいました。

今回はじめて参加する部員にとり、あまりにも多い来場者への対応に苦労しましたが、部員全員がフル回転して出展ブースを運営しました。また、高校生のお兄さんとお姉さんとして、多くの小学生に一生懸命説明していました。本校では、能勢町小中高一貫教育として、すでに小学生との交流を多く行っていますので、そのような体験を生かすことができたイベントであったと思います。



イモリと展示水槽



優秀賞を受賞しました。
表彰状をもらっているのは農業クラブ部長水越さんです。